

Confidential Posting 大容量ファイル転送システムの 送信補助機能のご紹介

大容量ファイルを送れるのはもちろんですが、**誤送信対策ツール**としても有効です！

情報総合センターが提供する大容量ファイル転送は、2 GBまでのファイルをWebサーバ経由で受け渡すサービスです。

大容量ファイル転送の送信機能には、ファイルの誤送信対策として有効な機能があるのでご紹介いたします。

■ 基本機能

受信者は、システムから通知されるURLからダウンロードページにアクセスし、ZIP形式またはEXE形式でファイルをダウンロードします。

ダウンロードが完了すると、次に復元パスワードが受信者宛に送信され、ファイルを解凍することができます。

送信者にはダウンロード完了通知がメールで届くので、受け取り状況を確認することができます。

返信機能を使うと、相手先からもファイルを送ることができます。

一時保管機能を使うと、送信準備の段階で保管し、後日送信することができます。

■ 誤送信対策機能

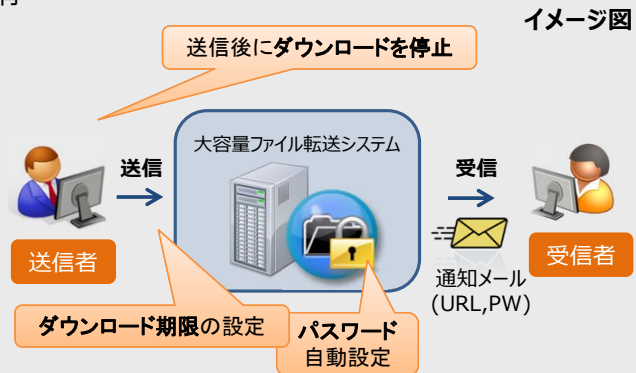
- 宛先メールアドレスを間違えた場合、ダウンロード前であればダウンロードを停止させることができます。
- ダウンロード期限を設定することができます(期限内であっても送信者による停止が可能です)。

利用方法について詳しくはこちらから：

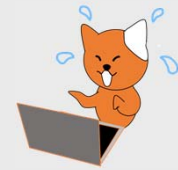
<https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/help/bigfile>

NSSセミナーの動画やテキストはこちらから：

https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/kyoudouriyou_sisetu/seminar202011_nss_2



一言メモ：サイズが小さいファイルも転送可能!
(最大2 GBまで転送可能)



ニュースはWebで
発信しています。

AFFRIT Portal » 農林水産研究情報総合センターニュース
<https://itcweb.cc.affrc.go.jp/affrit/inside/publications/affrit-news/start>

年末年始の「情報セキュリティ対策」を万全に

長期休暇を迎えるにあたって、まずは、ご自身の連絡体制を確認し何かあった場合の対応を明確にしてくださいとともに、普段使っているパソコンやサーバの電源管理・休暇中のログ管理等が十分に行えるよう準備をしてください。

◎ 長期休暇前のチェックポイント

<https://itcweb.cc.affrc.go.jp/affrit/ric-cc-guide/security/vacation>

- 休暇中必要のないパソコンや機器だけでなく、管理が手薄になる可能性がある場合は、Webサーバもあわせて電源を切りましょう。
- 止めることのできないサーバは、休暇中もアクセスログの確認を行いましょう。
- 緊急時の連絡体制を確認しましょう。
- 帰省先や旅行先などの普段使用していないパソコンは、管理が不十分な場合がありますので、業務に係る使用はやめましょう。
- 休み明けは、最初に必ず、OSやソフトウェア、ウイルス対策ソフトのパターンデータの更新を行ってから、職場のパソコンを使いましょう。
- パソコンやデータを持ち出す際には、暗号化する等、紛失対策を行いましょう。



トピックス:

サーバ管理に休みはありません

インターネットに公開しているサービスは、攻撃者に調べつくされ常に狙われています。脆弱な状況が無いよう管理を徹底すると共に、こまめなログチェックで異変を見落とさないようにしてください。